

弁護士・海事補佐人
いとう ようへい
伊藤 洋平



経歴等

- 2000年 上智大学法学部卒業
- 2006年 戸田総合法律事務所入所。
以降、海外逮捕事件、船舶差押事件、船主責任制限事件、航海備船契約を巡る紛争をはじめ、多数の海事関係事案を担当
- 2013年9月、英国サウサンプトン大学海事法ショートコース修了
- 2018年3月 早稲田大学大学院法学研究科修士課程修了
- 2022年10月 小町谷奨励賞受賞（日本海法学会）
- 現在、同大学院法学研究科博士後期課程在籍中

講演・論文等

- The International Comparative Legal Guide to: Shipping Law 2013 (Japan Chapter)
- 「燃料油供給契約におけるUS Choice of Law Clauseと船舶先取特権」海事法研究会誌222号35頁（2014）
- 『設問式 船荷証券の実務的解説』（共同執筆）（成山堂書店, 2016）
- 「堪航能力担保義務をめぐる諸問題」（2017年度日本海法学会ディスカッション）
- 「海上運送人の貨物留置権の法的性質－商法753条2項の検討を中心として－」早稲田大学大学院法研論集第168号1頁（2018）
- “Law Reform on the Statute of Limitation and Time Extension Agreement”（第12回東アジア海法フォーラム, 2019）
- 「アメリカ法におけるマリタイムリーエンの追及性とその限界」早稲田法学会誌71巻2号1頁（2021）
- 「運送契約上の責任減免規定の対抗を受ける『荷受人』の意義が問題となった事例－ジャイアントステップ号事件の再検討－」早稲田法学97巻2号161頁（2022）
- 「アメリカ法におけるマリタイムリーエンの順位」早稲田法学会誌72巻2号1頁（2022）
- 「マリタイムリーエンの成立に関する準拠法選択の有効性」早稲田法学会誌73巻1号1頁（2022）
- 「運送契約法の規律と不法行為責任」自由と正義 Vol.73 6月号23頁（日本弁護士連合会, 2022）

メッセージ

海事法は国際的な経済活動と法理論が複雑に交錯する世界であり、一般的な法律知識だけでは対応できません。

依頼者のニーズに適切に応えられるよう、実務と法理論の両面において研鑽を重ねて参ります。